

国立のさくらと福生のビール小屋・石川酒造の酒蔵散歩

1. 見学会日時 2024年3月23日（土） 時間 Am9:30～Pm16:00
2. 集合場所・時間 JR 中央線 国立駅 改札前 午前9:30（現地集合）
3. 見学場所
 - （1）旧国立駅（リニューアル後の駅舎） 所在地：現国立駅の並び南口交番前
*見学内容：公共施設で活用される再築後の旧駅舎を見学する。（無料）
 - （2）nonowa 国立 SOUTH（JR 東の木造商業ビル） 所在地：上記隣接
*見学内容：本年春に開業予定、構造は木造、一部鉄骨造で店舗や飲食店が入居予定。
 - （3）一橋大学兼松講堂（伊東忠太設計） 所在地：国立市中2-1 国立駅より徒歩10分
*見学内容：音楽ホールとして活用されている講堂、ロマネスク様式の外観・周囲を見学する。（無料）
 - （4）福生のビール小屋「石川酒造」 所在地：福生市熊川一番地（電話 042-530-5057）
 拝島駅より≒1Km （アクセス：JR 青梅特快国立駅発 11:33→拝島駅着 11:50）
*見学内容：酒蔵散歩見学コース・和食ランチ「食道いしかわ」 約2時間30分
費用≒3,000円/1名（但し飲み物は別途：現地精算）
4. 参加費用 金3,000円（飲み物：ビール、日本酒代は支部より補助の予定）
*交通費は参加者自己負担
5. 見どころ
 - （1）旧国立駅（リニューアル後の駅舎を南口に復元展示）
大学通りに桜が咲き誇る春、赤い三角屋根の「旧国立駅舎」が2020年4月4日にオープンし帰ってきました。大正15（1926）年の開業以来国立の街のシンボルとして親しまれ、ほぼ元にあった場所に創建当時の姿に再築されました。
 - （2）nonowa 国立 SOUTH（JR 東日本初の4階建て木造商業ビル）
構造材から仕上げ材迄、建物の各所に木材を使用する。内装の仕上げ等には、多摩産材を使用。構造は木柱と鉄骨梁を接合したハイブリッドのラーメン構造となっている。
 - （3）一橋大学兼松講堂
昭和2年（1927年）に創建され、平成12年（2000年）には登録有形文化財として選ばれました。平成16年に大改修が行われ改修後には、講演会・演奏会などで利用され音楽の森として親しまれてきました。
 - （4）福生のビール小屋
石川酒造は文久3年（1,863年）創業、熊川の地の水と空気から造る銘酒「たまじまん」は多摩地方を代表する日本酒として、親しまれてきました。平成10年からは111年ぶりにビールの醸造も復活され、地下天然水100%、無濾過の地ビールも醸造、販売されています。長屋門と本蔵は約230年前に建築され、国登録有形文化財の指定を受けている。
 - （5）その他 現地解散とし15:00～16:00頃を予定。 以上

見学場所

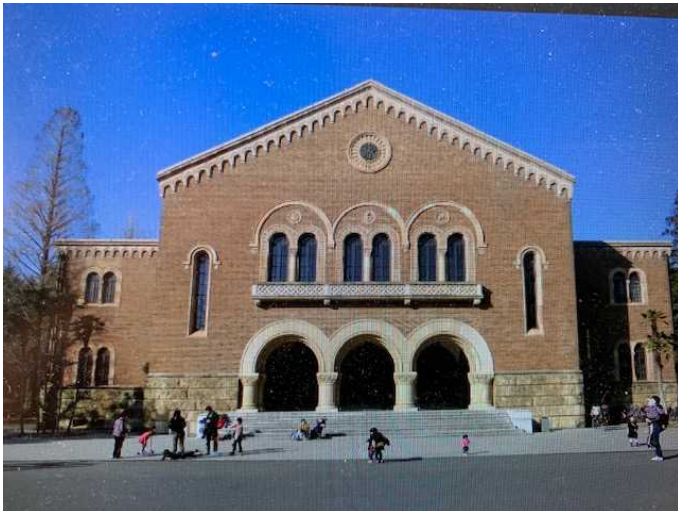
(1) 旧国立駅舎



(2) nonowa 国立



(3) 一橋大学・兼松講堂外観



兼松講堂内部



(4) 福生のビール小屋・石川酒造

